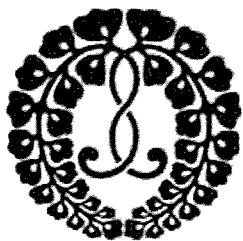


寶蓮寺 だより



ぶっぽうそう

第 56 号

春季彼岸会

2023年3月 発行



修復が完了した本願寺の唐門（国宝）

住職 ごあいさつ

住職 緒方義英

陽春のみぎり、皆さま、お変わりなくお金仏ご相続のこと大慶に存じます。平素より、当山の護寺発展にご尽力賜り、心より御礼申し上げます。

さて、このたびの当山春季彼岸会は、みやこ町光願寺のご住職・野田成敏先生をご講師にお迎えし、三月十八日（土）昼席と十九日（日）昼席でお勤めいたします。野田先生は全国で活躍なされる本願寺派の布教使で、当山には、この度、はじめての御出講となります。

皆さま、お誘い合わせの上、お聴聞いただきますよう、ご案内申し上げます。

なお、お齋（とき）の用意がございません。悪しからず、ご了承ください。

合掌

案内

十四日講御書会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました

鎮西別院 報恩講 (鎮西別院住所・門司区別院六番一號)

日時 四月三日(月)～五日(水)

日中法要十時、逮夜法要十三時三十分より

講師 義本弘導師 (大阪教区淨行寺)

寶蓮寺仏教婦人会 追悼会

日時 四月九日(日) 朝席十時～(朝席のみ)

講師 大江智承師 (築城組 金剛寺若院)

※会員以外の皆さまも、ぜひお参りください。

鑽仰会 春の集い

日時 四月二十八日(金) 十三時～

場所 淨円寺(豊前市松江)

講師 福岡教区 正福寺 福井智行師

敬弔

十二月二十七日 吉岡 中山紀子様 享年八十二

二月 一日 上別府 安廣美栄子様 享年九十六

二月 十二日 小倉 加留部達也様 享年六十七

二月 十八日 上別府 中嶋信之様 享年八十八

二月 二十日 道場寺 原野工三子様 享年九十八

三月 二日 行橋 越原マス子様 享年九十二

謹んで哀悼の誠を表します

永代經懇志

一金	拾万円	合木 佃成男様
一金	拾万円	東徳永 宮岡八ヤ三様
一金	伍万円	上坂 村元正人様
一金	伍万円	下別府 平野弘様

*本淨材は、当山発展・法義繁盛に活用いたします

寶蓮寺 本堂・庫裡再建事業ご懇志披露（令和五年二月現在）



（ご懇志募集）

本堂・庫裡の再建懇志を引き続き募集いたします。
直接ご持参いただかず、下記口座にお振込みいただきたく、お願い申し上げます。
完成後、本堂内の芳名板にお名前を掲げ、永代その御功績を讃えます。

指定口座：福岡銀行 行橋支店
店番：451 番号：2474863
名義 シュウ) ホウレンジ

【別府支部】 ▽ 城戸スミ工様 ▽ 福澤夕起子様 ▽ 長岡建宏様 ▽ 城戸正文様 ▽ 石井龍一様
 ▽ 中村貴敏様 ▽ 佃宗治様 ▽ 廣江ミツギ様 ▽ 伊塚スマ子様 ▽ 中村正彦様 ▽ 中村求様
 ▽ 中村夕カヲ様 ▽ 中村利生様 ▽ 木部澄夫様 ▽ 佃成男様 ▽ 中山正様 ▽ 進信雄様 ▽ 佃延枝様
 ▽ 太田宗夫様 ▽ 木部彰徳様 ▽ 造田龍夫様 ▽ 城戸きよこ様 ▽ 有本美樹子様 ▽ 京松又比古様
【道場寺支部】 ▽ 進一雄様 ▽ 齊藤敏和様 ▽ 溝上秀雄様 ▽ 吉永俊明様 ▽ 泉シズ様
 ▽ 山本和邦様 ▽ 高橋功様 ▽ 古島義知様 ▽ 高橋綜市様 ▽ 坪根美佐子様 ▽ 泉忠美様
 ▽ 高橋通泰様 ▽ 荒上國男様

【築城支部】 ▽ 吉村幹子様 ▽ 吉村勝寛様 ▽ 小野文彰様
【安武支部】 ▽ 宮尾友信様 ▽ 池永郁子様 ▽ 長岡洋子様 ▽ 宮尾成徳様 ▽ 宮尾好雄様
 ▽ 中村和子様 ▽ 宮尾孝章様 ▽ 廣嶋清春様 ▽ 中川陽一郎様

【綾野支部】 ▽ 越崎光一様 **【皆見支部】** ▽ 藤田トヨ子様 ▽ 藤田貞美様
【豊津支部】 ▽ 村元正人様 ▽ 村元和喜様 ▽ 宮本質様 **【有久支部】** ▽ 中村京子様
【袋迫支部】 ▽ 山口師功様 ▽ 高橋紀子様 ▽ 宮岡ハヤミ様 ▽ 山口幸作様
【吉岡支部】 ▽ 中山哲雄様 **【下高屋支部】** ▽ 崎田厚兒様 ▽ 青木吉則様 ▽ 進譲様
【箕田支部】 ▽ 北野誠司様 ▽ 中村慶喜様 ▽ 内海久年様 ▽ 上田勝子様
【敷門徒】 ▽ 宮内芳範様 ▽ 木村正夫様 ▽ 赤松啓三様 ▽ 小川雅輝様
 ▽ 北野俊彦様 ▽ 荒木満男様 ▽ 宮西成美様

【越路支部】 ▽ 久保成弘様

仏事のいろは ～家族葬について～

令和二（二〇二〇）年頃より、新型コロナウイルス感染症の流行が影響して、葬儀のあり方が大きく変わったように思います。そこで今回は、従来の一般葬と家族葬の違い、家族葬のメリットとデメリットについて考えてみたいと思います。

家族葬は家族や親族、親しい友人・知人だけが参列する葬儀ですので、基本的に、故人と直接面識のない方がお参りに来ることはあります。

ご遺族は、多くの参列者に気兼ねすることなく、ゆったりと葬儀に望め、お礼や挨拶に時間を取られることもないわけです。

しかし一方、故人の職業や趣味、社会的な立場によつては、生前お付き合いが多かった方もおられ、葬儀後に訃報を伝え聞いた方たちが、長期にわたつて弔問に来られることもあるそうです。その都度、弔問者に応対しなければならないのが大変、という声も聞きました。

コロナ渦においては、「三密を避ける」という観点から、家族葬が当たり前になつておりました。アフターコロナを目前に、今一度、葬儀のあり方が問われてくるようになります。

いずれにしても、ご遺族が一番に考えなければならないことは、葬儀が「大事な仏縁」であり、浄土真宗のご法義（教義）にかなつた厳粛な儀式になるかどうか、ということです。誰のための葬儀なのか、誰が何を目的に勤めるものなのか、そのことをしつかりと受け止めたうえで、一般葬か家族葬かを決めたいものです。

新発意の慈（ひづく）です



六歳になりました

今年の四月から

小学生になります



～表紙写真～

今回の表紙写真は、二〇二一年に修復が完了した本願寺の唐門（国宝）です。

桃山時代の豪華な装飾彫刻を充満した檜皮葺き（ひわだぶき）・唐破風（からはふ）の四脚門（しきやくもん）です。彫刻の見事さに日の暮れるのを忘れることから「日暮らし門」とも呼ばれます。

電車が大好きで、
西九州新幹線に
乗ってきました。

発行 照曜山 寶蓮寺

〒829-0105

築上郡築上町上別府 1072-1

電話 090-1192-5324 (住職)
090-8395-0845 (坊守)